

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804043

案件番号 :1884965

主分野課題 :環境管理/地球温暖化

副分野課題 :資源・エネルギー/省エネルギー

使用言語 :英語

案件概要

化石燃料に頼ったエネルギー消費は、温室効果ガスによる地球温暖化を助長し、途上国の生活環境や経済に悪影響を及ぼす可能性がある。寒冷地にある北海道は、多くの化石燃料を消費してきたが、近年地域課題解決と気候変動対策の両立のため再生可能エネルギーの導入を推進している。本研修は、再生可能エネルギーの取組とエネルギー資源である自然環境の保全について知見を得、地域レベルの気候変動対策について学ぶことを目的とする。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

地域の特徴に合わせた再生可能エネルギーの取組について理解を深め、開発途上国における地域レベルでの気候変動対策のための計画策定が実行される。

【成果】

1. 持続可能な資源を活用してエネルギーをまかなうことの必要性、及び地域課題解決と両立しうる再生可能エネルギーの利用の可能性を理解する。
2. エネルギー資源としての自然環境の持続可能な利用と保全、地域開発について理解するとともに、住民参加型の手法について理解を深める。また、北海道における地域レベルでの事例を基に、開発途上国においてエネルギー資源となりうる地域資源の利用の可能性と課題が整理される。
3. 農業、漁業、観光業など北海道の主要産業における再生可能エネルギーの取組を例に、地域産業と再生可能エネルギーの連携の可能性について理解を深める。
4. 本邦研修での学びをもとに、帰国後のアクションプランが研修員によって策定され、所属組織において検討される。

【対象組織】

- (1) 気候変動、または再生可能エネルギー推進の計画策定に携わる中央省庁/地方自治体
- (2) 実際に関連するプロジェクトに参加・関係している人材や企業の能力強化に関わっている公的・民間機関等

【対象人材】

- (1) 気候変動、または再生可能エネルギー推進の計画策定に携わる中央省庁/地方自治体の担当部署に属する行政官。または、実際に現場のプロジェクトに参加・関係している人材や企業の能力強化に関わっている公的・民間機関等の職員。
- (2) 関連分野での実務経験3年以上。
- (3) 英語での研修に支障をきたさない語学力を有していること。

内 容

1. カントリーレポートの作成、提出（自国・地域の課題の整理、事前活動）。
2. 日本の気候変動政策と、北海道、及び道内市町村の地球温暖化に関する施策の関連についての講義。北海道の地理的、社会的背景や地域課題を理解したうえで、地域特性を活かした気候変動対策についての講義。
3. エネルギー収支の考え方と、地域資源の活用による再生可能エネルギーの利用実践についての講義、視察。
4. エネルギー資源としての自然環境の持続可能な保全に関する講義と視察。住民参加・理解を促すための取組事例、環境教育についての講義、視察。
5. 地域産業創出と関連した再生可能エネルギーの可能性に関する講義、視察。
6. 自国の課題整理、ディスカッション、アクションプラン作成。

本邦研修期間

2018/10～2018/12

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA北海道（札幌）

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

調整中

特記事項
及び
ホームページ

本研修の実施地である北海道は、寒冷地であるため多くのエネルギーを必要としており、地域として再生可能エネルギーに取り組んでいる。このような地域の特色に合わせた研修は、開発途上国のニーズに合致すると考える。